

人権だより

2021.10.1

9月18日は、人権参観日でしたがコロナ過のため、保護者の皆様の参観はありませんでした。が、各クラスで人権学習を行いましたので、遅くなりましたがその様子をお知らせします。

各クラスで学年に応じて、友だちのこと、人権のことについてしっかりと考えることができました。自分を大切にする、友だちを大切にする横浜小学校の子どもたちであってほしいと思います。誰もが、笑顔で学校生活を送ることができるように頑張っていきたいと思います。



（1年）『いま、どんなきもち』

自分自身の今の気持ちを考えることで、同じ場所においても一人一人、いろいろな気持ちを持っていてもよいということを学習しました。いろいろな顔の絵を見て、どんな気持ちか想像することから、友達のことを考えたり、どう接したらよいか考えたりしました。それぞれの気持ちを大切に、関わり合いを持てる子供になってほしいと思います。



（2年）わたしの足は車イス（フランツ＝ヨーゼフ・ファイニク作）

足の不自由な女の子が、車いすでスーパーに買い物に出かけます。色々な人に出会います。じろじろ見る人・車いすでかわいそうと言う人など。悲しい気持ちになったけど、すてきな友だちに出会い前向きな気持ちに変わりました。この教材を通して、女の子の気持ちに寄り添うとともに、バリアフリーについても学ぶことができました。



（3年）『いろいろな気持ちのことばさがし』

言葉ジグソーの中から、いろいろな気持ちを表す言葉をさがし、探し出した言葉について自分の経験を話しました。「いい気持ちのする」言葉の中で自分が一番いい気持ちのするものを選び、なぜそれを選んだか発表しました。友だちの意見を聞いて、友だちが気持ち良くなったり、自分も気持ちよくなるような言葉を使いたいし、気持ち良くなるようなことをしたいと振り返ることができました。



(4年)『いじりといじめ』

「いじり」に対して何とも思っていなかった主人公のゆうきが、友達の問いかけにより「いじりといじめの違い」について考える話から、子どもたちとも違いを考えました。いじりといじめは違うと考えた人から、どちらもされたら嫌な人もいるから同じだという意見もでました。みんなが気持ちよく過ごすためには、相手の気持ちや考えを知るといい、何か言うには相手の気持ちを考えることが大事といったように相手を思いやることの大切さを考えました。



(6年)『権利の熱気球』

身近にある様々な権利に順位をつける活動を通して、人間が生きていく上で欠かせない人権の大切さを、子どもたちとともに考えました。どの権利も大切である一方、大切にしたいこと、考えていることは人それぞれ違うことに気づき、自分や他人の人権を尊重していこうと考えることができました。また、「感じる、考えることが違うことが人間の良さだ」と、振り返る児童もいました。

(5年)『ちがいのちがい』

性別、年齢、言語など…世の中には多種多様な「ちがい」があふれています。そんな「ちがいのちがい」があっていいのか、あってはいけないのかについて考えました。大人でも悩むような8つの問題について、身に付けてきた知識や価値観を総動員して一生懸命学習していました。発表の場面では、本当に様々な意見が出て、私たち教員も考えさせられたことでした。「体力的なことは仕方ないのではないか」「人としての権利がある」「差別という言葉や行動がない世界、未来になってほしい」と大人顔負けの態度で振り返ることができました。



(ゆうかり)『ふわふわことばとチクチクことば』

ふわふわ言葉やチクチク言葉を言われた時の気持ちについて考えていきました。チクチク言葉を言われると「泣きたくなる」「いやになる」「イライラする」、ふわふわ言葉を言われると「ニコニコになる」「心が落ち着く」「元気になる」等、自分の言葉で発表することができました。ふわふわ言葉もたくさん出ました。「学校中をふわふわ言葉でいっぱいになりたいね。」と話をしました。